

## 溶媒供給配管設置工事について

大阪PCB処理事業所は、令和3年度末に計画的処理完了期限を迎え、運転廃棄物の処理並びに解体撤去工事に係る準備としてタンク及び配管等機器内部に付着しているPCBを循環洗浄によって低減させたいと考えています。

### ○工事概要

- ・トランス油受槽（V-2902）は平成24年度より使用を停止しているが、過去に高濃度PCBの貯留槽として運用していたため、槽内はPCB雰囲気となっている。
- ・このPCB雰囲気を洗浄により低減することを目的として炭化水素系溶媒（KP-8）を供給するための配管設置工事を実施する。
- ・トランス油受槽の容量は8.65m<sup>3</sup>と比較的大きいため、溶媒は新規溶媒及び回収溶媒の二種類から選択できるようにする。
- ・トランス油受槽に溶媒を張り込み、循環洗浄することによりPCB雰囲気の高濃度低減効果について令和3年度中に結果を取りまとめる。

# 『溶媒供給配管設置工事』 概要フロー図

